

令和5年度 第3回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和5年10月12日(木) 14:00~15:20
場所	福井市企業局3階301会議室
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
	<p>2 議事</p> <p>議案1：新保・大和田巡回バス『あおぞらくん』の廃止について (資料に基づき、えちぜん鉄道より説明)</p> <p>会長 いつから運行開始していて、コロナ前はどのぐらいの利用者数だったのか。</p> <p>えちぜん鉄道 平成16年から実証運行ということで開始し、その後本格運行となった。利用者数としては、令和元年度で約7,000名、令和4年度で3,000名となっている。利用者数もあるが、運行経費の部分で資材高騰や動力費高騰を受けて経営全体で見た時に厳しい状況にあり、苦渋の決断ではあるが廃止としたい。</p> <p>会長 交通手段が全くなくなるわけではなく、中藤乗合タクシーや京福バスの路線バスに代替をするということなので、しっかり案内をしていただきたい。</p> <p>原案のとおり承認</p> <p>議案2：すまいるバスの運行計画の変更について (資料に基づいて、京福バスより説明)</p> <p>委員 今までは協議運賃についてこの協議会の中で協議を行っていたが、10月の道路運送法の改正を受けて、この協議会では協議できなくなった。理由としては、独占禁止法のカルテルに抵触する恐れがあるためである。協議運賃について、別に協議会を設けてそこで協議していく必要がある。この運賃に関する協議会の構成員は、行政、運輸局、運賃に関係する事業者、住民代表の4者となる。</p> <p>また、運賃を協議する前に、広く意見を求めるということで公聴会やパブリックコメント、アンケート調査などが必要となる。この意見を反映したうえで、運賃に関する協議会で協議することになる。</p> <p>急な制度変更となったが、この協議会では運賃に関する協議はできなくなったが、議論は従前どおりできると認識している。</p> <p>次に、すまいるバスに関して、3月16日の新幹線開業に合わせてEVバスを導入するという事になっているが、今までにない車両となるので、なるべく早めに車両登録の手続き等を進めてほしい。もし、分からないことがあったら運輸支局にご相談いただきたい。</p>

<p>会長</p>	<p>公聴会の開催とあったが、対象者は沿線住民や利用者が視野に入っていると思うが、例えば、この協議会の場が公聴会に該当するということはあるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>この協議会が公聴会に該当することはない。 住民や利用者、利害関係者に広く意見を求める手法として、考えられるのが公聴会やパブコメ、市政広報、アンケート調査である。アンケート調査では利害関係者が抜けてしまうので、事業者団体へのヒアリング等で補完するということになる。</p>
<p>会長</p>	<p>今までよりも関係者と密に調整していくということだと思う。 もう1点のバスの話だが、万が一変更予定日にEVバスが間に合わなかったとしても、現在の車両があるのでその車両を活用して運行することになると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>運輸支局の話をつまえた、すまいるバスの今後の予定だが、運賃に関して市政広報に掲載し広く意見を求めたあとに、運賃に関する協議会を開催し協議していくということで考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>テクノポート号の運行もしているが、その運賃の改定を今後検討したいと思っている。その場合のスケジュール感がどうなるのか教えてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>逆算して考えてもらうしかないかもしれないが、運賃の届出は30日前になるので、今後は実施する30日前までに運賃に関する協議を行ってもらうことになる。あとは、パブコメや公聴会がどのタイミングでできるかということもあると思うので、それぞれに合わせて前もって準備してもらう必要がある。変更する内容によって、手続きがどうなるかは整理中である。場合によっては、停留所を追加するだけでは申請が必要ないこともあるので、そのあたりはどのような変更をするのかによって異なる。その都度、運輸支局までご相談いただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>内容によって、手続きが異なるということなので、相談しながら進めていきたいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>運賃が変わるか変わらないかによって、運賃の協議が必要かどうか決まるという認識でいるが、バス停が増えることについては、関係ないということではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>停留所の変更については、この協議会の場で協議してもらって問題ない。た</p>

	<p>だ、新しく追加した停留所には基本的に運賃がついていないので、その場合には協議運賃を設定するよう話をしていたが、それを行っていくと手続きが煩雑化するので、あまり負担がかからないよう整理しているところである。例えば、デマンドの区域運行で運賃が決まっていれば、運賃に関する協議会は必要ない。中々説明しづらい部分もあるので、ご相談いただきながら進めていきたい。</p>
委員	<p>すまいるバスのデザインは全ルート変わっていくのか。</p>
京福バス	<p>予定としては、4 ルートとも同じデザインで色だけ現在のものを踏襲していくイメージで考えている。</p>
委員	<p>ニコニコマークは、無くなってしまうのか。</p>
京福バス	<p>どうなるのかは分からないが、令和バージョンのニコニコマークになるかもしれないが、どういうデザインが出てくるかはこれからである。</p>
委員	<p>色は踏襲するというでいいのか。</p>
京福バス	<p>基本的にはその予定で考えている。</p>
会長	<p>新幹線が来て色々なところが変わっていくとなると、駅周辺の案内なども合わせて整理していただく必要があると思う。</p> <p>原案のとおり承認</p> <p>議案3：南東地区フルデマンドタクシーの停留所新設について (資料に基づき、京福バスより説明)</p>
会長	<p>資料の地図で見ると、停留所間が近く見えるが、数百m離れているので、高齢者の方だと歩いていくのも少し大変ということで、利便性向上を図るうえでの改善ということになるので、問題ないと思う。</p> <p>原案のとおり承認</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 福井市地域公共交通計画の素案について (資料に基づき、事務局より説明)</p>
会長	<p>評価指標の「駅・主要バス停における待合環境整備数」について、延べとい</p>

	うのはどのように理解すると良いか。
事務局	現在は3件実施しているが、これを毎年度1件ずつ増やしていくということで、累計で8件という意味で記載している。
会長	他の指標は年度当たりの数字であるが、ここだけ違う表現になると分かりにくい。
委員	評価指標の設定について、もし計画を作らなかったら現在値がどうなって、計画を作ることでどれだけ上げようとしているのかという根拠があれば教えてほしい。
事務局	バスの利用者数については、上位計画である第八次総合計画で定めている。バスの収支率については、コロナ前の平成31年度の1利用者当たりの経費や収益を出して、利用者数に基づいて実際どのような経費や収益になるかを算出している。経費に占める行政負担額の割合は、平成31年度を目標に算出している。
会長	中々難しいところであるが、今聞いているのは何もなかった時と、計画の事業を実施した時はどれだけ違うのかということだと思う。
委員	県内としては、年間1%程度人口が減っている中で、この計画の目標が無理しているものではないかということも検討していると思うので、質問させていただいた。 目標があまりにも過大なものだと何のために設定したのか分からないし、あまりにも過少なものと乗り越えられる目標を設定しただけだとみられてしまうこともあると思う。
委員	路線バスについては、ずっと減少傾向だったので、増加させること自体が難しい。すまいるバスについては、便数を減らしているのに、利用者数自体は減少しているが、1便あたりの乗車数はコロナ前程度まで回復している。これを増やしていこうということで、目標としては高いところに設定している。特に、コロナの影響を受けていない市の総合計画の指標を使っているので、達成自体は非常に難しいものである。しかし、様々な施策をうちながら取り組んでいきたいと思っている。ただ、指標自体は非常に高いものであるということを知りたい。
会長	計画をつくるうえで、初めから現実的なところで考えてしまうと何のための目標なのかとなってしまうので、そのあたりは過大にしているのはやむを得

	<p>ないと思う。</p>
委員	<p>2点質問がある。1点目が、バスでICカードの利用ができるようになると思うが、例えば、ICカードの残高が不足していて運賃を支払えない場合、差額分を現金で支払うことができるのかどうかお聞きしたい。地域コミュニティバスについてもICカードを使えたら良いという話も聞いている。</p> <p>2点目は、並行在来線ハピラインになったときに、特急に乗る時の切符をどこで買うのかを聞かれて、困ったことがあったので、情報があったら教えてほしい。</p>
委員	<p>現時点では、ハピラインふくいが現在のみどりの窓口と同じ機能を持つ券売機を導入するしないについてはまだ決まっていないところなので、何とも言えない。ただ、利便性の低下を阻止するために、新幹線駅から外れる鯖江駅や武生駅には券売機を導入するのではないかと個人的には思っている。新幹線と隣接するようなあわら温泉駅や福井駅は、JRの窓口であったり、みどりの券売機があるので、予約して購入してもらうことができると思う。</p> <p>現時点では、ハピラインふくいがどうされるのかまだ正式決定していないし、正確な情報も持っていない。</p>
委員	<p>今聞いている情報では、ICカードで足りなかった額について現金で支払うことが可能。チャージについても、チャージができる機械を車内に取り付けることになる。一部、チャージができない車両もあるが、概ね可能である。あと、最寄りのコンビニやJRの駅でもチャージはできる。</p>
委員	<p>バス運転士の確保というところで、市再任用職員をバスドライバーに起用するとあげていたが、現時点で具体的に議論している内容などあれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>現時点では、詳細なことは決まっていないため、計画期間中に進めていきたい。</p>
会長	<p>本日で計画に盛り込んでいる内容は全て協議をしたことになるので、パブコメをしたうえで、その意見を反映させて最終確定になる。実質的には、本日が最後の協議の場となる。何か気づいた点があればご指摘いただきたい。</p> <p>今日の説明ではなかったが、資料の35ページから赤字になっている部分は前回からの修正点になるか。</p>
事務局	<p>この地域公共交通計画で主に取り組む部分は赤字で変更を加えている。</p>

委員	ふくい MaaS のことであるが、ふくアプリの機能の一部として搭載されることになるので、書きぶりが難しいかと思うがどうか。
委員	当初は、ふくい MaaS アプリという独立したアプリを制作する予定で進めていたが、ふくアプリの機能の一部として搭載することにしたので、少し変わっている。ただ機能としては、アプリの機能を有しているので、ふくい MaaS アプリということで内部では統一している。書きぶりについては、考えさせていただく。
会長	MaaS アプリの部分は確認いただくとして、これで協議は終了となる。今後どのような形で計画は提示されていくのか。
事務局	本日も指摘のあった点は、修正させていただいて、冊子の素案と概要版を作成し、両方を出す形で進めていきたい。
会長	計画を出すときには、事務局から委員にも共有いただき、委員からも展開することで幅広く意見をいただけるようお願いしたい。 また、改めてお気づきの点があれば早めにご指摘をいただければと思う。
	以上